

反富裕 1 1. 2 3 新宿デモ／集会

- ◆一生使い捨ての派遣法改悪反対
- ◆もう払えない！消費増税反対



<デモ>

- 日時 2014年11月23日(日)午後5時集合
- 場所 新宿駅東口駅前広場(アルタ前広場)

<集会>

- 日時 2014年11月23日(日)午後7時集合
- 場所 カフェラベンデリア
- 問題提起 平井玄(「ミッキーマウスのプロレタリア宣言」著者)

【主催】 「反富裕11.23新宿デモ」実行委員会

【連絡先】 フリーター全般労働組合

電話/fax 03-3373-0180/03-3373-0184

メール union@freeter-union.org

twitter @fzrk

消費増税と労働法改悪は、富裕層の資産価値を守る方策だ。

十分な資産と所得を私的に確保した彼らは、低額で使える医療や介護、公的な教育をはじめとする公共サービスを必要としない。だからその維持費は彼らにとってムダ金でしかない。また、労働条件の切り詰めに彼らはこれっぽっちの痛みも感じない。誰かに雇用されるわけでもない彼らにとって賃金はコストに過ぎないからだ。むしろこうして企業が得た「元気」は、内部留保の蓄積を經由して経営層と投資家層にしか還元されないのである。

世襲と閥閥から力を得た政権には「人々の暮らし」など関心の片隅にもない。彼らがほんとうに気にしているのは、財政破綻と企業の業績悪化を通じた債券・証券価格の暴落だろう。一生派遣で働く制度ができれば彼らは直接の利益を得る。

公共サービスの削減や有料化、そして消費増税の実行ができれば財政破綻のリスクが下がり、国債や証券という形で彼らが法人・個人として保有する資産の価値が守られるのだ。

いまや搾取は労働過程にとどまらない。労働から、消費から、そして公共部門からも、まんべんなく、広く、そして深く、私たちは搾取にさらされている。これに抗するために、11月23日に「反富裕」のデモを行い消費増税と派遣法改悪にとどめを刺そう。街路にこの言葉が書かれ、人々が囁きあう日が来ることを、彼らは深刻な面持ちで見つめるだろう。それが終わりの合図だからである。

2014年10月

「反富裕11.23新宿デモ」実行委員会

